

会 議 録(1)

会 議 の 名 称	令和5年度 第3回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和5年10月26日(木) 午前10時00分 開会・午前11時25分 閉会
開 催 場 所	市庁舎 4階 大会議室
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	有賀健高 栗山三千代 小林昌幸 近藤信弘 齋藤勝久 竹内國雄 永井健一 浜野良一 村野裕子 森洋子
欠席委員(者)氏名	上田圭吾 岡崎洋志 小野吉雄 河野真夢 坂本蓉
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課(事務局)主幹 松落義夫
会 議 次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 家庭ごみ収集回数の見直しについて ・地球温暖化対策に向けて ・入間市のごみ減量・資源化に取り組みと市民ができること ・今後のごみ減量・資源化の見込み(将来予測値) 4 その他 次回の審議会日程及び内容 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料 ・【資料1】令和5年度第3回入間市廃棄物減量等推進審議会資料 ・【資料2】市民ができること
事務局職員職氏名	環境経済部 部長 岸 道博 次長 横田 一洋 副参事 中村 慧 副参事 橋本賢司 エコ・クリーン政策課 課長 竹廣 由美、主幹 松落義夫、 副主幹 村上 俊 総合クリーンセンター 所長 石井 治彦、主幹 水村 昌秋
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### ○審議事項

家庭ごみ収集回数の見直しについて

- ・地球温暖化対策に向けて
- ・入間市のごみ減量・資源化に関する取り組みと市民ができること
- ・今後のごみ減量・資源化の見込み(将来予測値)

【資料1】【資料2】を用いて説明を行った。

#### ○その他

- ・次回、第4回審議会では、答申案を検討するお知らせをした。

以上

会議録(3)

発言者	発言内容
<p>司会 小林会長 事務局</p>	<p>1 開会(配布資料の確認を含む。) 2 会長あいさつ 3 議題 家庭ごみ収集回数の見直しについて ・地球温暖化対策に向けて ・入間市のごみ減量・資源化に関する取り組みと市民ができること ・今後のごみ減量・資源化の見込み(将来予測値) (【資料1】【資料2】を用いて事務局より説明を行った。)</p>
<p>小林会長</p>	<p>事務局からの説明についてご質問がありましたらお願いします。</p>
<p>有賀委員</p>	<p>可燃ごみの収集を週3回から2回にした場合、車両の運行距離は単純計算で、もっと少なくなると思います。 しかし、以前、可燃ごみの収集を週2日にした場合、1日あたりの走行距離が増えるという意見があったのですが、多くなっているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>単純に計算すると、2日とした場合は、総走行距離は3分の2となりますが、1日あたりの走行距離が増えるとの意見を反映し、4分の3程度としました。</p>
<p>有賀委員</p>	<p>将来的にごみが減るから走行距離も減ったということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ごみが減ると、運搬車両の走行距離も減るので、それを試算したものです。</p>
<p>村野委員</p>	<p>資料のスライド2の諮問内容に、「収集委託費のコスト削減の観点や」という文章がありますが、スライド3の「③収集回数を減らす目的」にコストの削減は入っていません。コストの削減も目的にしているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>当初の諮問内容では、コスト削減を入れさせていただいていましたが、その後みなさんに審議していただく中で、コストの削減は目的にそぐわないという意見があったため、目的を変更させていただきました。結果的にコスト削減もできる可能性があるとは考えています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
村野委員	<p>委託業者のアンケートで、ごみの収集日程を減らしても作業量は変わらないため、委託料は削減して欲しくない、との意見もありましたので確認しました。</p> <p>可燃ごみの収集が週3回から2回になることで、ごみが減るというのを数値等では出さなければ納得されないと思います。地球温暖化対策のためというのはよく分かりますが、週3回を2回にすることによって、ごみが確実に減るとい根拠があるわけでもなく、ごみが本当に減るのか疑問があり、例えば、ごみ収集車が今まで3往復で済んだところが4往復になった場合、CO<sub>2</sub>は減らないのではと思いました。</p>
小林会長	<p>コスト面につきましては、市の予算に関することですので、当審議会では審議の対象とせず、あくまでも収集回数の変更について意見をいただければと思います。</p>
齋藤委員	<p>例えば雑がみで、店で物品を買うと過剰包装が多く、これを減量しろと言っても、過剰包装をするのは事業者や販売店の問題であるので、個人ではできないと思う。我々市民がどうしても減量に対して一生懸命取り組んでもできないのがあると思うので、いかがでしょうか。</p>
小林会長	<p>例えば過剰包装についてメーカーに、話を聞いてという部分ではあります。</p>
齋藤委員	<p>そこまでなくてもいいです。減量に対して、市民ができることと、できないことが相当ありますということも知っていただければなと思います。ごみを減らすことで、できることとすると、例えば新聞とるのをやめる。そんな風に発展していくのは行き過ぎかなと思います。</p>
小林会長	<p>齋藤委員のご意見で、答申の中に、例えば過剰包装等により、市民がごみを減量できないこともあるので、そういったところも調整してほしいという文言を入れることは可能でしょうか。</p>
事務局	<p>答申内容につきましては、次回12月会議で、ご検討いただくことでお願いできればと思います。</p>
森委員	<p>前回、入間市としては可燃ごみの収集回数を週3回から2回にするというところ</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>で、市の目的が明確でないため教えていただきたいと質問しました。地球温暖化やリユースなど、一般的に当たり前のことかと思っています。もっと踏み込んで、なぜ週3回を2回にしたいのか、どうしてそれを推進したいのか、明確な目的が見えないから納得できない、というのが正直な意見です。</p> <p>市としても、プラスチックごみの一括回収から始まり、様々な取り組みをしております。また、市民にできることとして、資料もつけさせていただいたところです。こういった取り組みをしていく中でごみを減量し、さらに資源化を進めていくことになります。</p> <p>今回の目的は、ごみ収集回数の見直しをすることによって、ごみ減量ができると思っていますが、例えば家庭から出る生ごみの割合は、可燃ごみのうち、34%占めています。そのうち食ロスの部分が36%というデータもございますので、そういったところを減らしていけばごみの量が確実に減っていくものと思っています。こういった市の施策に取り組んでいく中で、収集回数の見直しも併せて取り組んでいければというところでございます。</p>
森委員	<p>今のお話を聞いた上でも、今までの審議会の内容を踏まえてみても、私自身の考えとしては、収集回数よりもごみの有料化の方が、ごみが減ると感じています。</p> <p>予算のことはこの審議会では議論しないと言っていました。資料の1ページにも書いてあるように、結局は委託費のコストの問題だと感じます。そこは目的を変えたので対象外だとするのであれば、今日の資料として、前回の流れを書いて載せるべきだと思います。収集業者のアンケートでも、委託費のコストありきでこういうことを考えるのは違う、とおっしゃっていたように、市としては委託費の削減が目的であるように見えてしまうからこそ、もう少し考えていただきたいと思いました。</p>
齋藤委員	<p>市の考え方として、ごみの減量によって収集回数が減るとしてはありますが、地球温暖化対策に向けて収集回数を減らしてごみを削減とも書いてあり、表現が違い、無理があるように感じます。強引に回数を減らして、それに合わせてごみを減らそうというような受け取り方をしてしまいます。収集回数を減らす目的に、ごみを削減するとしていますが、ごみを減らして収集回数を見直すという表現のような気がします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>スライド3の、収集回数を減らすというところで、例えば収集回数を減らすことによって、市民のごみを減らそうという意識を持っていただけるという点があるかと思えます。これは最後の千葉県船橋市の状況にありますように、収集回数を3回から2回に減らすということで、ごみを減らそうという意識が醸成されるという点があると思っております。</p>
小林会長	<p>ごみの減量に特效薬はないと思います。積み重ねの施策が大きな形になると思っています。可燃ごみの収集回数を週3回から2回にすることによって、可燃ごみから雑がみ、あるいは資源ごみにまわる可能性も十分考えられます。ごみの有料化も可燃ごみとして出したらお金がかかるが、資源ごみや雑がみで出せば、お金がかからないという発想で、ごみ減量のために有料化をする。やってみなければわからないということもあるかと思えます。</p>
齋藤委員	<p>収集回数を減らします。よってごみを削減できます。確かにそのような考えはあると思います。生ごみを減らす、食品ロスを減らす、それらは、市民が自分で行動し、ごみを減らす。ごみが減れば収集回数を減らしてもいいというストーリーの方がいいと思います。</p>
岸部長	<p>活発なご意見をいただきありがとうございます。委員のお考え、意見を聞いておりますと、ごもつともな点もございます。まず、地球温暖化が世界的な問題で、これについては市町村、自治体がそれぞれやっつけていかなければなりません。そのため、その市町村のお住まいの方々の方がまたそこで、意識をもってやらなければ成立しないことは言うまでもありません。ごみの有料化の話が出ていますが、有料化についてはやはり意識付けという部分が多分にあると思います。有料化となって指定のごみ袋を買うことになった場合、なるべく指定のごみ袋を買わないように、ごみを減そうという市民一人ひとりの努力もいただけるのではないかと思います。今回、可燃ごみの収集回数を週3回から2回にすることは、市のごみ減量に関する取り組みの一つとして実施したいものです。</p> <p>入間市も、多くのごみ減量に関する取り組みをしていますが、さらに、地球温暖化に伴う脱炭素に係る取り組みを始めております。今後、再生可能エネルギーを作って、太陽光パネルを普及させていくために、市から補助金を出しています。ごみを焼却したエネルギーを電気に変えていく、そういった取り組みも全国的に行</p>

発 言 者	発 言 内 容
村野委員	<p>われています。そのようなところを視野に、今回のごみ収集回数の見直しは、市民の方々も一緒にやっていただかないと成り立たないというところで、まず意識付けの取り組みと並行してやっていきたいということでございます。</p> <p>スライドの5番目に、今、市が取り組んでいることが載っていますが、それによって実際ごみが減っているというお話もあって、それはとても喜ばしいことだと思います。しかし、一市民として思うのは、毎日のごみ出しは、本当に生活に密着したこと、それが、燃えるごみが週3回から2回になるのは、すごく大きなことだと思います。例えば子育て中の方が、おむつを数日ためないといけない、介護をしている方が、大人用の使用済みのおむつを数日ためなくてははいけないというのは、大きな問題だと思います。この素晴らしい市の取組みに興味がない人も、収集回数を週3回から2回になることには、興味を持つと思います。入間市は週3回燃えるごみの日があるから他市から転入してきたという人を私は実際知っているのですが、それなりに納得のいく説明がないと、そういった方たちがほんとうにがっかりすると思いますし、納得できない説明の仕方ではだめだと思います。CO<sub>2</sub>を減らすということは分かるのですが、これだけ丁寧に説明していただいても、週3回から2回になって、本当にごみが減るのか疑問を感じます。そのところをきちんと説明していただけると、市民がみんな納得すると思いました。</p>
岸部長	<p>市でも細かい取り組みはしており、例えば、今まで工具類や家電製品、食器類などの不燃ごみは、破碎して処分するものがほとんどですが、それをリユース販売する方法もあります。そういった細かい取り組みも実施しています。村野委員が言われるように、市の PR や、説明が足りなかったかなというところは、今後の反省とさせていただければと思います。</p>
有賀委員	<p>市としても、ごみの総量を減らす話を最初に目的とした方がいいと思います。おそらく週の全体でどれくらいごみが出せるかというのがそもそも決まっていて、それを3回で出すのか2回で出すのかという議論だと思います。</p> <p>例えば30リットルのごみを3回出すのか、45リットルを2回出すのかという話だと思いますが、その辺をもう少しきちんと説明した上で、1 戸あたりが出せる量は同じでもそれを 2 回にするのか 3 回にするのかと言った中で、2 回のメリットはあると思います。忙しい人にとって毎日のように出さなきゃいけないというのは</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	<p>かえって面倒なので、2 回にすると毎日出さなくても休める日があります、という ようなところも市としてアピールできるのかなと思います。</p> <p>また違ったご意見を賜りましてありがとうございます。ほかにご意見はございま すでしょうか</p>
近藤委員	<p>先ほどから収集回数を週 2 回にするとごみが減るという話で、収集している立 場からするとそんなに減らないと思っています。</p> <p>確かに毎年ごみは減っていて、分別にも取り組んだ結果もあると思いますが、 雑がみについている金具は外して出してください、と高齢者に言うと、力がなくて できないと言われ、結局できないから可燃ごみで出すと言う方もたくさんいます。 この先そのような方が増えていけば、雑がみをどうするかという話にもなってく ると思います。</p> <p>また、先ほどメーカーの方にも言ってくださいという話がありましたが、収集回 数の話から様々な問題が浮かび上がり、意見をまとめないとならないというのは 良くわかるのですが、回数を強引に減らすとなったら混乱するので、収集業者も 仕事ができなくなるのではないかと思います。ある程度、減量が落ち着いてから でないで収集回数を減らしていくのは難しいのではと思います。そのあたりは無 視しないでしっかり考えていただきたいと思います。</p>
小林会長	<p>今度のごみの収集を週3回のところを人が少ないから2回にしてくれという話に なるかもしれませんし、収集回数が増ければ、いつでもごみを出せるという意識を 変えていただけないと思います。</p> <p>次の審議会は答申に向けての事務局の答申案を、みなさんのご意見を賜り、作 成していくこととなります。問題といたしましては、可燃の収集回数を週2回として文 章を作ってもらったほうがいいのか、今後週2回も含めてもう少し検討していただ きたいということで、答申案を作っていただくか、どちらがいいのかということでご 意見を賜りたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
竹内委員	<p>多分今まで通りの3回の方がいいと思います。収集回数が減ることによって不 法投棄が増えるのではないかと思います。</p>
栗山委員	<p>一応、入間市全体で例えばどこかの地区を試験的に週3回から2回にしてみ、</p>



発 言 者	発 言 内 容
	<p>そこで、対象地区や対象自治会でアンケートを取ったうえで、意見も参考にして進めるというのはいかがでしょうか。</p>
小林会長	<p>そういったことは可能でしょうか。モデルケースを作って、そこでごみの排出量をもとにして検討するということができますか。</p>
事務局	<p>はい。ご協力いただける自治会等があれば、そういったことで実証実験的に、というのはあると思います。</p>
小林会長	<p>ではモデル地区の件も含めて、今後、可燃ごみの収集回数を週2回に向け、審議会で、皆さんの意見を聞きながら進めていくことだと思っています。</p> <p>次回は答申のための意見を頂いて、答申ということによろしいでしょうか。</p> <p>ぜひご協力をいただきまして、答申につなげていきたいと思っておりますので、ご理解を賜ればという風に思います。</p> <p>以上で、議長の座を下ろさせていただきます。</p>
事務局	<p>小林会長ありがとうございました。</p> <p>続きまして次第の4 その他となります。事務局より説明をお願いします。</p> <p>次第4 (今後のスケジュールについて説明、次回の審議会で答申案の検討をさせていただきます)</p>
司 会	<p>それでは最後に次第の5 閉会を永井副会長からお願いいたします。</p>
永井副会長	<p>本日は様々なご意見を賜りまして、活発な議論ができたと思います。どうもありがとうございました。小林会長からもありましたとおり、次回は事務局の答申案、我々の意見を反映した答申案というものを作ってもらって、その内容について議論していきたいと思っておりますので、12月22日はそのようにお願いしたいと思っております。</p> <p>それでは以上を持ちまして、令和5年度第3回の入間市廃棄物減量等推進審議会これで終了いたします。ありがとうございました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事の内容を末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。:</p> <p>令和 5年12月14日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>小林昌幸</u></p> <p>議長が指名した者の署名 <u>永井健一</u></p>	